

協同組合講座

非営利・協同セクターの役割と展望



← 生活クラブ生協寄付講座 主な内容 →

今年で8年目を迎える生活クラブ生協・神奈川大学寄付講座は、非営利・協同セクターについて学びます。日本や地域の課題解決を目指し、サステイナブル（持続可能）な暮らしを実現するために、非営利・協同セクターはどのような役割を担い、どう展開していくのか…テーマごとにゲストスピーカーをお呼びし実践報告も交えて学んでいきます。エネルギー・食・環境・福祉・雇用などの問題に関心をお持ちの方、非営利事業、協同組合の組合員など、皆様のご参加をお待ちしております。

▼実施日時：

**2019年4月10日（水）～
7月17日（水）までの毎週水曜日**

- 全14回 * お好きな回のみの参加も可能
- 毎週水曜日 3 時限（13：30—15：10）
* 講座内容一覧 （裏面）
- 神奈川大学・横浜キャンパス（教室は生活クラブ神奈川のHPに掲載します）

お申込み・お問い合わせ先

生活クラブ神奈川HPまたはお電話にて
お申し込みください
HP : <https://kanagawa.seikatsuclub.coop/>
TEL : 045-474-0985
(生活クラブ生協 政策調整部)
この講座に関する神奈川大学への直接のお問い合わせはお控えください。

▼神奈川大学へのアクセス

- 東急東横線「白楽駅」もしくは「東白楽駅」から徒歩13分
- 横浜駅西口バスターミナルから
横浜市営バスを利用（東神奈川駅経由）
【1番乗り場36系統】菅田町／緑車庫行—約14分—神奈川大学入口または六角橋西町下車
【1番乗り場82系統】
八反橋／神大寺入口行—約14分—神奈川大学入口または六角橋西町下車
- 横浜市営地下鉄片倉町駅前より横浜市営バス利用【2番乗り場36-82系統】東神奈川西口／横浜駅西口行—約6分—「六角橋西町」または「神奈川大学入口」下車

講座内容一覧

受講生募集!!

＜第1回＞ 4月10日(水)

協同組合（生活クラブ生協）について

講師：①③藤田ほのみ／生活クラブ生協理事長

②出口裕明担当教授

①主催者あいさつ②本講座の主旨、狙い、講座概要、成績評価方法等を説明します。③協同組合並びに非営利市民事業とはどのような組織か。出資金や剩余金のあり方、経営の考え方等の原則を、生活クラブの日常の組合員活動を通じて説明します。また、組合員主権とはなにか、協同組合・NPO・W. Co の参加・運営形態の違い等、本講座を受講するにあたっての基礎学習を行います。

＜第2回＞ 4月17日(水)

世界に広がる協同組合運動 —その今日的な意義と課題

講師：白石正彦／東京農業大学名誉教授

協同組合とはいかなるものか。そして、協同組合運動の歴史的変遷と到達点を概説します。そのうえで、今日の世界的に高まっている協同組合に対する期待（SDGs 等）にも触れながら、今日の協同組合（非営利・協同セクター）の課題と展望について検証します。

＜第3回＞ 4月24日(水)

ソーシャル・キャピタル（社会的関係資本）と非営利・協同セクターの役割

講師：宮崎徹／早稲田大学・日本女子大学非常勤講師

経済的資源（モノ・カネ・ヒト）の配分のしくみである市場と政府の関わりについて、19世紀から今日までの変遷をマクロ的視点で振り返ります。そのうえで、現在露呈している社会問題を踏まえ、自由主義経済や公共政策など、2つの分野（公・市場セクター）のやりくりでは、社会を運営していくことに限界がきいていることを説明し、ソーシャルキャピタルや非営利・協同セクターの役割について学びます。

＜第4回＞ 5月8日(水)

地域社会に展開する協同組合の可能性

講師：三浦一浩／一般財団法人地域生活研究所研究員

世界、そして日本で多面的な生活課題、地域課題の解決と雇用を生み出している協同組合を、設立過程を含めて紹介。また、日本の協同組合法制の課題と多面的な生活課題解決を後押しする世界の法制度の違いを共有。そのうえで、市民自治に基づく地域社会を、たすけあいと持続可能な事業によりつくっていくことの大切さを学びます。

＜第5回＞ 5月15日(水)

食を取巻く課題と協同組合の役割

講師：加藤好一／生活クラブ連合会会長

生活クラブ生協の事業と運動の取組みを、「生活クラブの消費材10原則」等を踏まえ、食料自給や食の安全（添加物、農薬、遺伝子組換え、放射能等）などの取り組み事例を通して、SDGs の推進視点を含む共同購入運動や協同組合運動について紹介します。さらに、消費者、生産者の立場から、食の安全、農業保護、グローバル経済システムについて考えます。

＜第6回＞ 5月22日(水)

①「レイドロー報告」の到達点と今日における課題

②中間振り返り

講師：半澤彰浩／生活クラブ生協専務理事

①新自由主義と多国籍企業による席巻に対する、「レイドロー報告」の出された時代背景や協同組合の4つの優先分野について解説し、今日における協同組合の課題を提起します。
②また前半の概論の振り返りを行い、協同組合、非営利市民事業の理論や概念をさらに深めます。

＜第7回＞ 5月29日(水)

少子・高齢・人口減少社会における日本の社会保障

講師：小川泰子／本学非常勤講師、（社福）いきいき福祉社会理事長
今日の人口減少社会の特徴と一連の社会保障（介護、医療、年金）改革の課題を概説し、子育てや生活困窮者に対する支援の強化が求められている状況と、公的福祉の限界性を共有します。そして、これから時代の個人が尊厳をもった生き方・死に方、「福祉」とは何かを問題提起します。

＜第8回＞ 6月5日(水)

協同組合原則を基盤とした新しい働き方の可能性

講師：木村満里子／神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会理事長
ワーカーズ・コレクティブ（W. Co）とは何か。その歴史、価値と原則、特徴、課題を学びます。また、W. Co の起業の流れ、事業・運営について事例を踏まえ、居場所・たまり場などの取組みも紹介し、これからの方を展望します。

＜第9回＞ 6月12日(水)

若者の就労支援や、地域で雇用創出にチャレンジするワーカーズ・コレクティブ運動

講師：上田祐子／NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ協会副理事長
困難を抱えた若者たちとの共働・共生をめざす、W. Co 協会の誕生経緯、これまでに若者や生活困窮者等を対象とした就労支援事業、居場所や働き場づくり等への取り組みを紹介します。また W. Co による支援の課題や今後の展望について考えます。

＜第10回＞ 6月19日(水)

東日本大震災からの復興を進める新しい協働—NPOと生活協同組合

講師：①石井優太／公益財団法人共生地域創造財団事務局長

②佐藤清吾／元十三浜漁協組合長

①人と人とのつながりが基本である協同組合は、東日本大震災とその後の復興への取組みにあたり、大きな役割を果たしてきました。活動の経験から培われた支援の考え方および現在も震災復興に取組む協同組合の実践や課題を学びます。
②また、壊滅的の被害を受けた宮城県北上町十三浜の漁業を復興させた経験を共有します。

＜第11回＞ 6月26日(水)

市民による参加型福祉と社会的包摶の取組み

講師：①君島周子／生活クラブ生協副理事長

②片山丸／生活クラブ生協たすけいネットワーク事業部長

①少子高齢・人口減少社会が急速に進み、私たちは様々な生活リスクにさらされています。今日の社会情勢を踏まえつつ、生活クラブ生協の共済活動の取り組みを学びます。
②生活クラブ生協の活動の延長として参画している一般社団法人フードバンクかながわの取組みなどを紹介します。

＜第12回＞ 7月3日(水)

平和・民主主義と日本国憲法

講師：芹澤齊／青山学院大学名誉教授

今日、「戦後レジームの脱却」を標榜する政権によって、基本的人権の保障、国民主権、平和主義が、ないがしろにされようとしています。安保関連法施行、憲法改正議論の加速化も予測される中、協同組合運動の基盤でもある平和と民主主義について憲法を軸に考えます。

＜第13回＞ 7月10日(水)

自然エネルギーと協同組合

講師：桜井薰／生活クラブ生協副理事長

生活クラブ生協のエネルギー自給圏づくりに向けた取り組み（脱原発社会、CO2削減、エネルギー自治、再生可能エネルギーの発電施設の建設等）を紹介するとともに、日本の自然エネルギー普及の可能性及び環境政策の課題を考えます。

＜第14回＞ 7月17日(水)

①生活クラブ生協で働くということ

②全体まとめ

講師：①生活クラブ生協／地域生協専務理事

②藤田ほのみ／生活クラブ生協理事長

①生活クラブ生協職員からの報告および提起を通して、協同組合を形づくっている多様な働き方や意義について考えます。

②講座全体を振り返り、歴史的大転換期を迎えた世界における非営利・協同セクターの今日的意義に関する理解、見識を深めます。

サステイナブルなひと、



生活クラブ